

■ CE リポート ぎじゅつ 吹田操車場を語る

吹田操車場の歴史を語る中で貨物輸送の変遷がわかりやすく説明されており、興味深く読めました。トラック輸送の利便性に対抗しきれず姿を消すことになったものの、こうした遺産を語り継ぐことは、時代の流れを感じるとともに、これからの時代を想像する発想のヒントをくれるような気がします。地球環境問題、少子高齢化社会の到来を迎えるなか、トラックによる少量輸送が今後どうなるのか？どうあるべきなのか？幹線輸送のあり方を考える契機になりそうです。

(所属: JR東日本 氏名: 三島大輔)

1歳半になる私の息子が最近電車に興味を持ち始めました。私もこの記事を見て、規模に驚いたり当時のことを想像したりしているのを考えると、鉄道への思いというのは世代を超えても変わらないのだなと思いました。

(所属: 東亜建設工業 氏名: 濱田洋志)